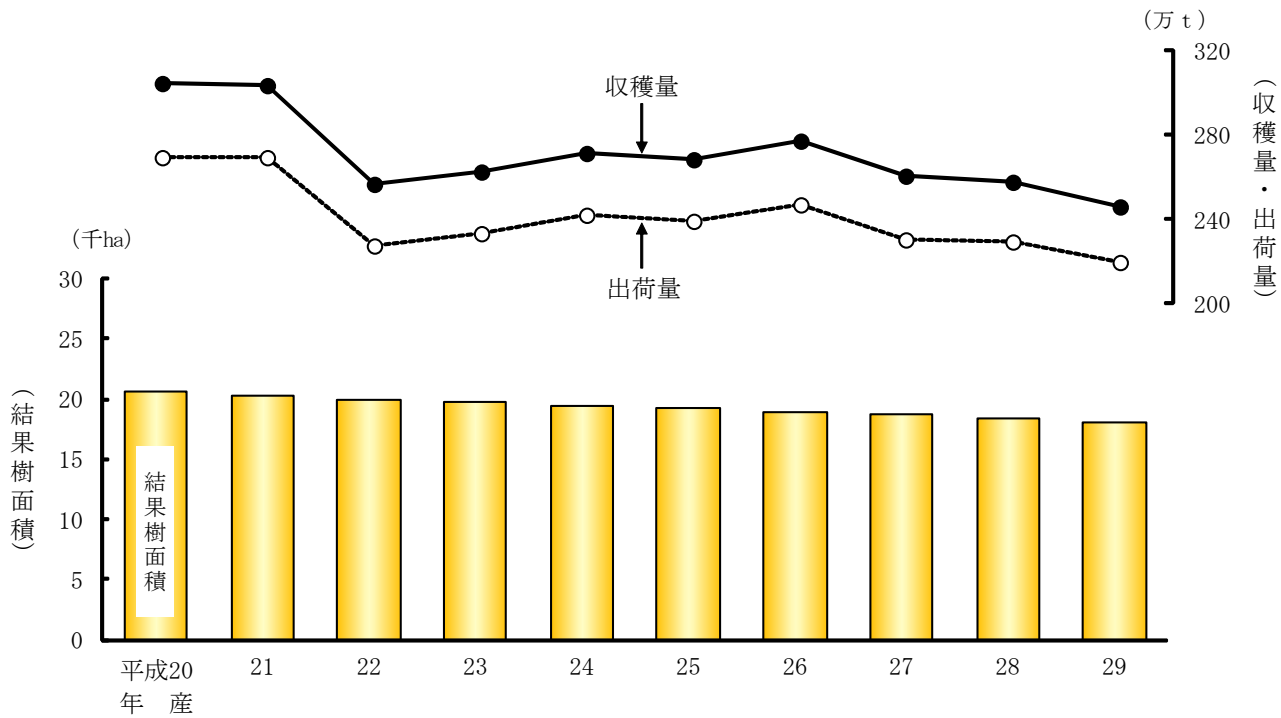


1 平成29年産果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の動向

平成29年産果樹の結果樹面積は18万1,300haで、前年産に比べ3,600ha（2％）減少した。

収穫量は246万3,000 t、出荷量は219万5,000 t で、前年産に比べそれぞれ11万2,000 t（4％）、9万6,000 t（4％）減少した。

図 1 果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の推移



注： 1 パインアップルは、沖縄県のみ数値である。
2 パインアップルは、収穫面積である。

表 1 平成29年産果樹の結果樹面積・10 a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	2) 対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
計	181,300	…	2,463,000	2,195,000	98	nc	96	96
み かん	40,600	1,830	741,300	661,300	96	99	95	97
り ん ご	36,500	2,010	735,200	655,800	99	97	96	96
日 本 な し	11,700	2,100	245,400	226,600	97	103	99	100
西 洋 な し	1,490	1,950	29,100	25,700	99	95	94	94
か び わ	19,800	1,140	224,900	186,400	97	100	97	97
も も	1,240	293	3,630	2,950	93	195	182	182
す も も	9,700	1,290	124,900	115,100	100	98	98	99
お う と う	2,810	698	19,600	17,100	99	86	85	85
う め	4,360	438	19,100	17,200	99	98	96	97
ぶ ど う	15,100	575	86,800	75,600	97	97	94	94
く り	16,900	1,040	176,100	161,900	99	99	98	99
1) パインアップル	18,800	99	18,700	14,500	97	116	113	120
キウイフルーツ	317	2,680	8,500	8,310	100	109	109	110
	2,000	1,500	30,000	26,200	98	120	117	120

注： 1)は、沖縄県のみ数値である。また、結果樹面積は収穫面積である。
2)のみかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、対前年産比については平成27年産と対比した。

2 品目別の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量

(1) みかん

ア 結果樹面積

結果樹面積は4万600haで、前年産に比べ900ha（2％）減少した。

なお、平成27年産に比べると1,600ha（4％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,830kgで、平成27年産に比べ10kg（1％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は74万1,300t、出荷量は66万1,300tで、平成27年産に比べると、それぞれ3万6,500t（5％）、2万2,600t（3％）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が19％、愛媛県が16％、熊本県が12％、静岡県が11％となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

品種別にみた収穫量割合は、早生温州が約6割を占めている。

図2 みかんの結果樹面積及び収穫量の推移

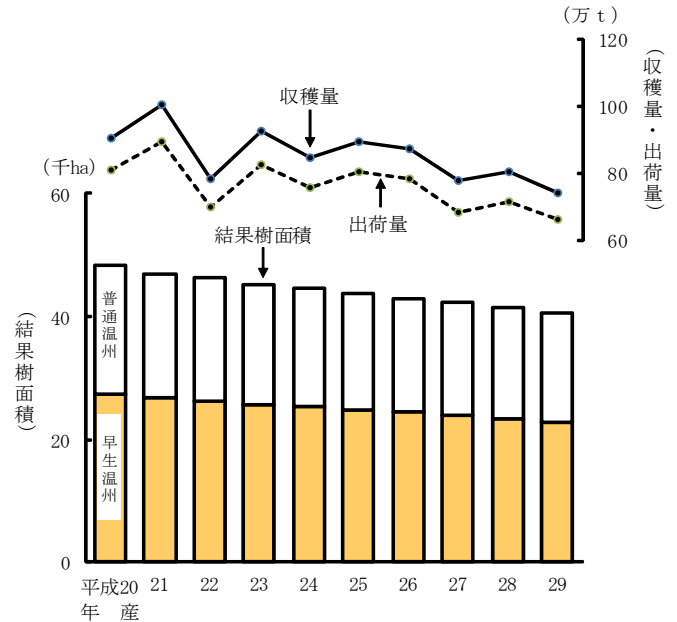


図3 みかんの都道府県別収穫量

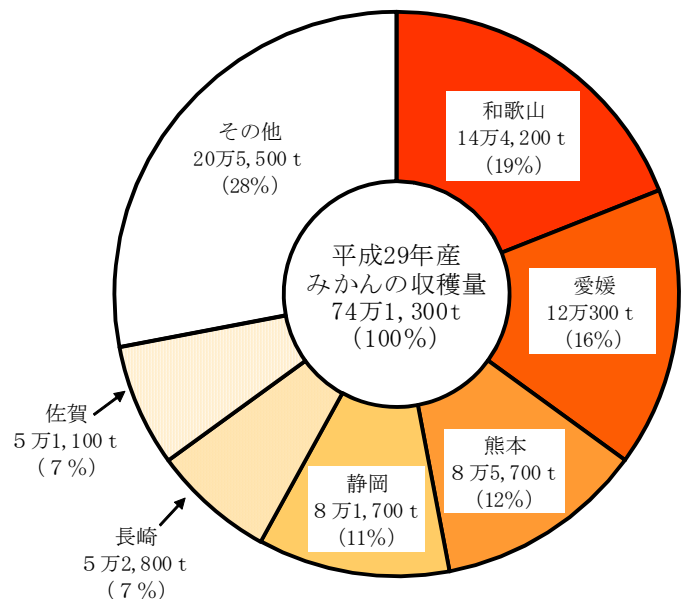


表2 平成29年産みかんの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

区 分	結果樹面積 ha	10a当たり 収 量 kg	収 穫 量		出 荷 量 t	対28年産比		対 27 年 産 比		
			実数 t	割合 %		結果樹 面 積 %	結果樹 面 積 %	10a 当 たり 収 量 %	収 穫 量 %	出 荷 量 %
み か ん	40,600	1,830	741,300	100	661,300	98	96	99	95	97
早 生 温 州	22,800	1,960	445,800	60	403,200	97	95	102	96	97
うち 極早生みかん	6,830	1,910	130,600	18	119,100	96	92	101	93	94
ハウスみかん	415	4,870	20,200	3	19,200	95	91	101	92	92
普 通 温 州	17,800	1,660	295,500	40	258,000	98	97	96	94	96

注： みかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、結果樹面積は前年産（平成28年産）及び前々年産（平成27年産）と、10a当たり収量、収穫量及び出荷量は前々年産（平成27年産）と対比した。

(2) りんご

ア 結果樹面積

結果樹面積は3万6,500haで、前年産に比べ300ha（1％）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,010kgで、前年産に比べ70kg（3％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は73万5,200t、出荷量は65万5,800tで、前年産に比べそれぞれ2万9,800t（4％）、2万9,100t（4％）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が57％、長野県が20％となっており、この2県で全国の約8割を占めている。

品種別にみた収穫量割合は、ふじが約5割を占めている。

図4 りんごの結果樹面積及び収穫量の推移

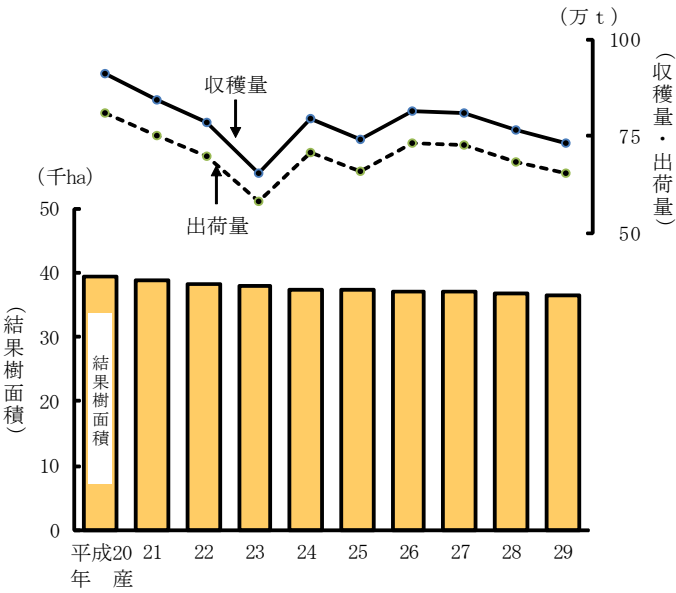


図5 りんごの都道府県別収穫量

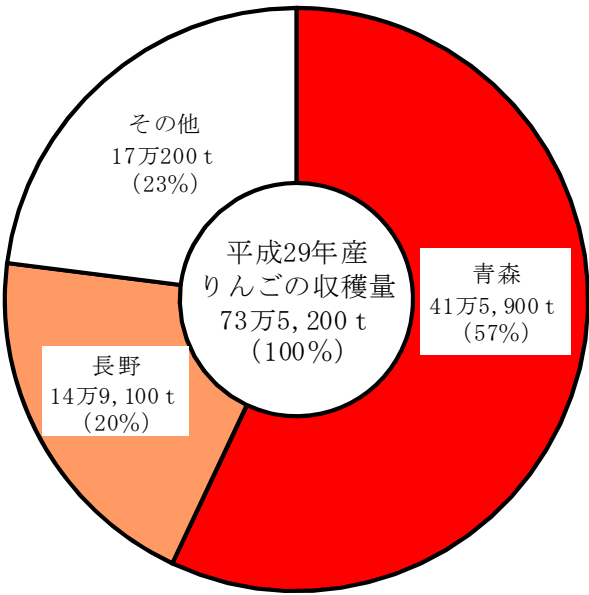


表3 平成29年産りんごの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収	収穫量		出荷量	対前年産比			
			実数	割合		結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
りんご	36,500	2,010	735,200	100	655,800	99	97	96	96
うちふじ	18,800	2,000	376,800	51	336,500	99	93	93	92
つがる	4,640	1,800	83,600	11	73,600	98	107	104	104
王林	2,830	2,010	57,000	8	51,300	99	103	101	102
ジョナゴールド	2,550	2,020	51,400	7	46,700	98	96	94	94

(3) 日本なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万1,700haで、前年産に比べ400ha（3％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,100kgで、前年産に比べ60kg（3％）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は24万5,400tで、前年産に比べ1,700t（1％）減少、出荷量は22万6,600tで、前年産並みとなった。

都道府県別の収穫量割合は、千葉県が13％、茨城県が10％、栃木県及び福島県がそれぞれ8％、鳥取県が7％、長野県が6％となっており、この6県で全国の約5割を占めている。

図6 日本なしの結果樹面積及び収穫量の推移

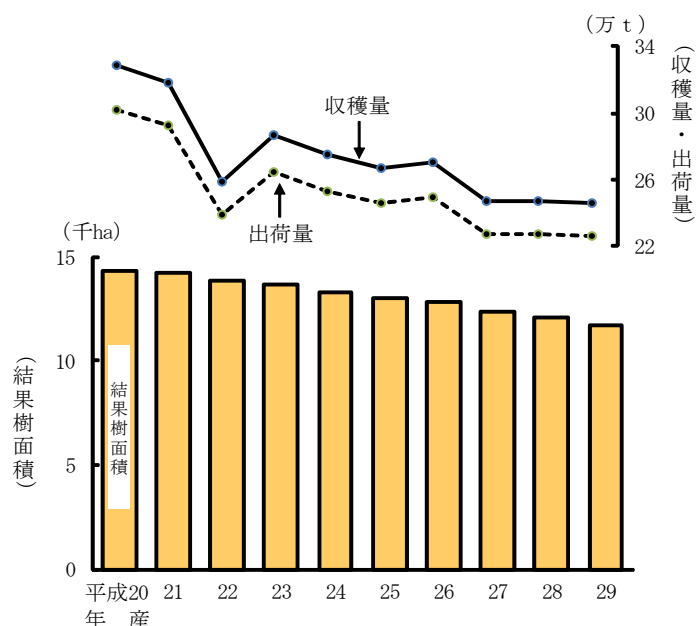


図7 日本なしの都道府県別収穫量

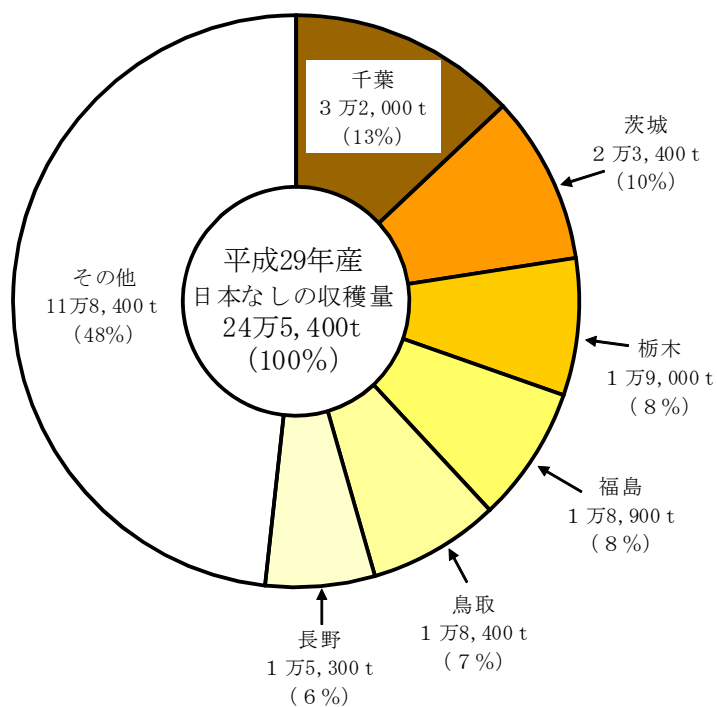


表4 平成29年産日本なしの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日 本 な し	11,700	2,100	245,400	226,600	97	103	99	100

(4) 西洋なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,490haで、前年産に比べ20ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,950kgで、前年産に比べ100kg（5％）下回った。

これは、山形県において、降雪による枝折れにより着果数が少なかったこと、開花期以降の少雨、低温・日照不足の影響で果実の肥大が抑制されたこと及び台風による落下の被害が発生したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万9,100t、出荷量は2万5,700tで、前年産に比べそれぞれ1,900t（6％）、1,600t（6％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図8 西洋なしの結果樹面積及び収穫量の推移

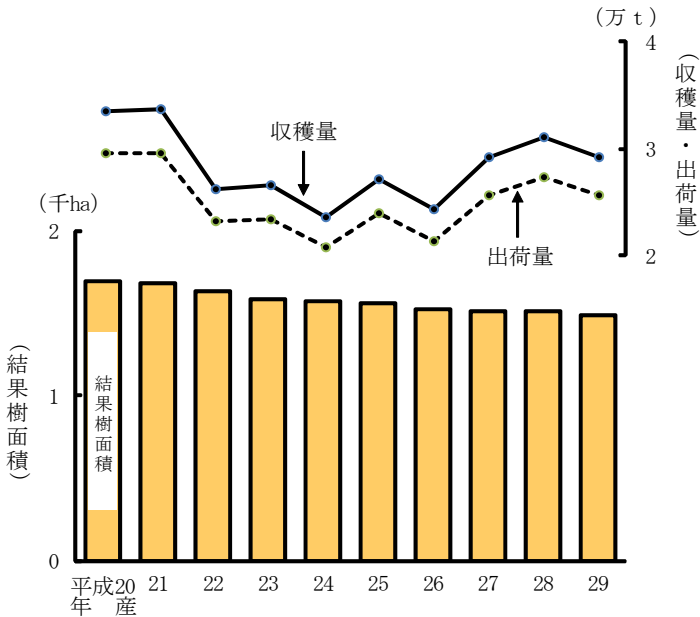


図9 西洋なしの都道府県別収穫量

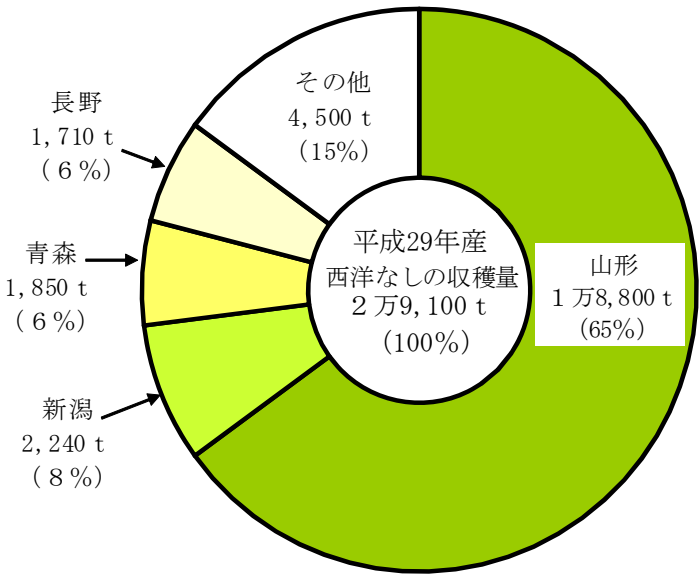


表5 平成29年産西洋なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西 洋 な し	1,490	1,950	29,100	25,700	99	95	94	94

(5) かき

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万9,800haで、前年産に比べ600ha（3%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,140kgで、前年産並みとなった。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は22万4,900t、出荷量は18万6,400tで、前年産に比べそれぞれ8,000t（3%）、5,100t（3%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が21%、奈良県が15%、福岡県が8%、岐阜県及び愛知県がそれぞれ6%、新潟県が5%となっており、この6県で全国の約6割を占めている。

図10 かきの結果樹面積及び収穫量の推移

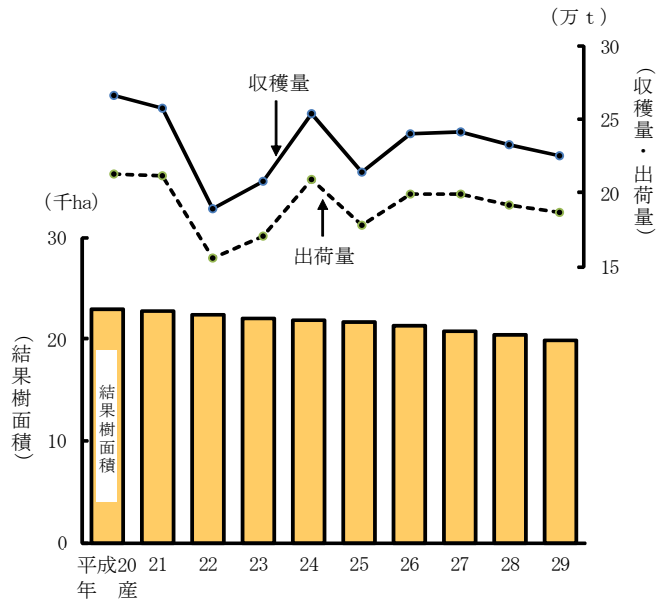
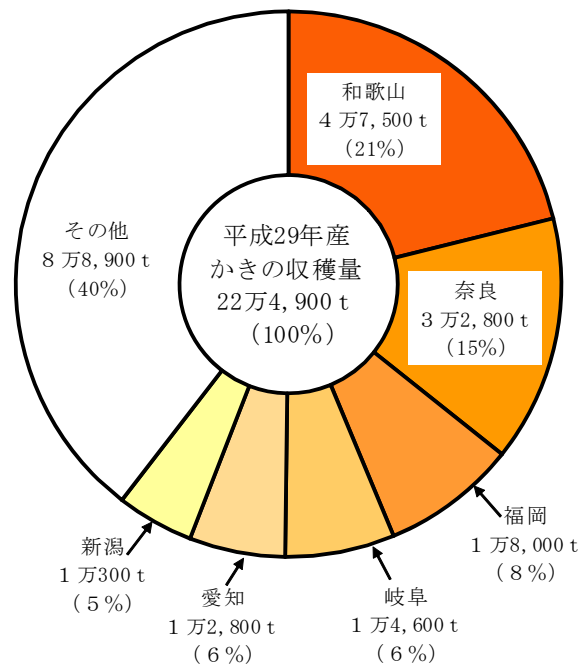


図11 かきの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表6 平成29年産かきの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
か き	19,800	1,140	224,900	186,400	97	100	97	97

(6) びわ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,240haで、前年産に比べ90ha（7％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は293kgで、前年産に比べ143kg（95％）上回った。

これは、低温及び降雪の影響により果実の凍死があった前年産に比べ、おおむね天候に恵まれ順調に生育したためである

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は3,630 t、出荷量は2,950 tで、前年産に比べそれぞれ1,630 t（82％）、1,330 t（82％）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、長崎県が29％、千葉県が15％、香川県が8％、鹿児島県が8％となっており、この4県で全国の6割を占めている。

図12 びわの結果樹面積及び収穫量の推移

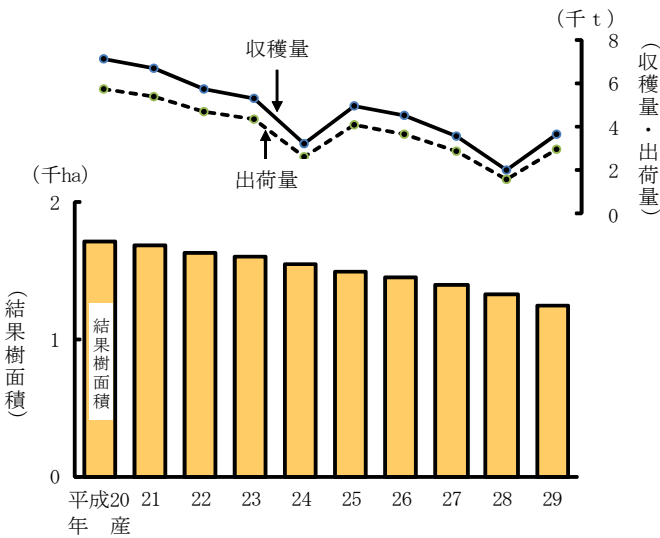
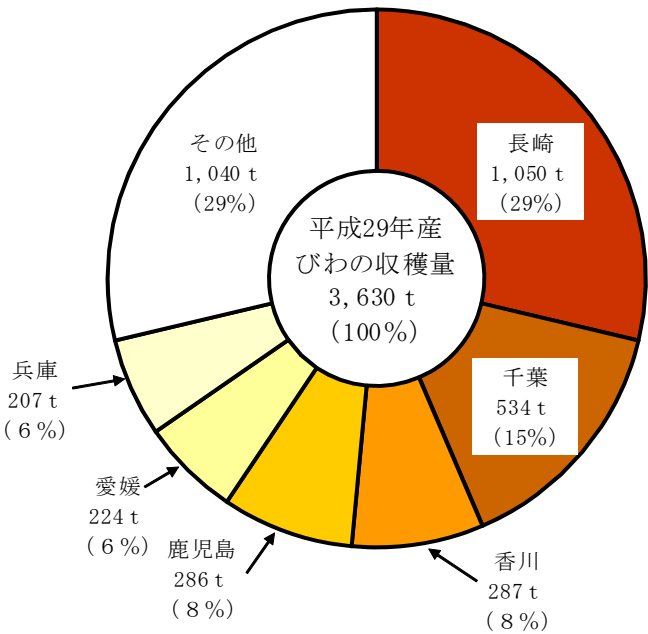


図13 びわの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 7 平成29年産びわの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10 a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量
び わ	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	1,240	293	3,630	2,950	93	195	182	182

(7) もも

ア 結果樹面積

結果樹面積は9,700haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,290kgで、前年産に比べ20kg（2％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は12万4,900 t、出荷量は11万5,100 tで、前年産に比べそれぞれ2,400 t（2％）、1,500 t（1％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が31%、福島県が23%、長野県が12%となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図14 ももの結果樹面積及び収穫量の推移

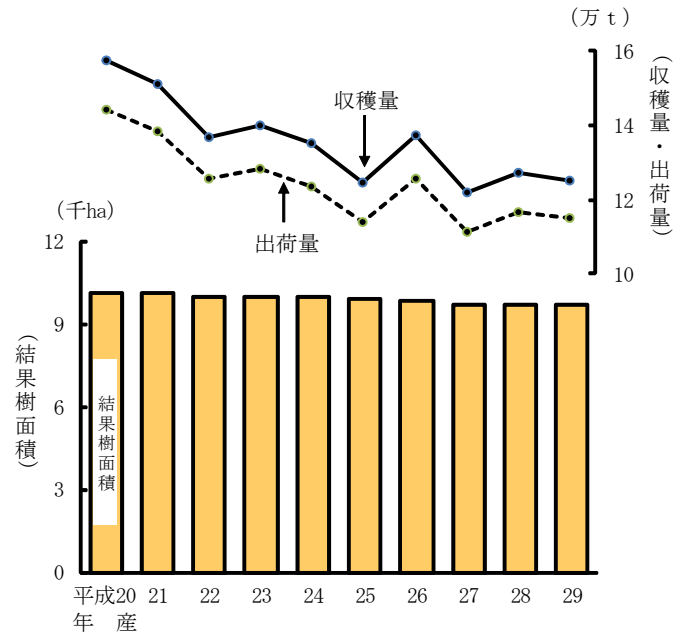


図15 ももの都道府県別収穫量

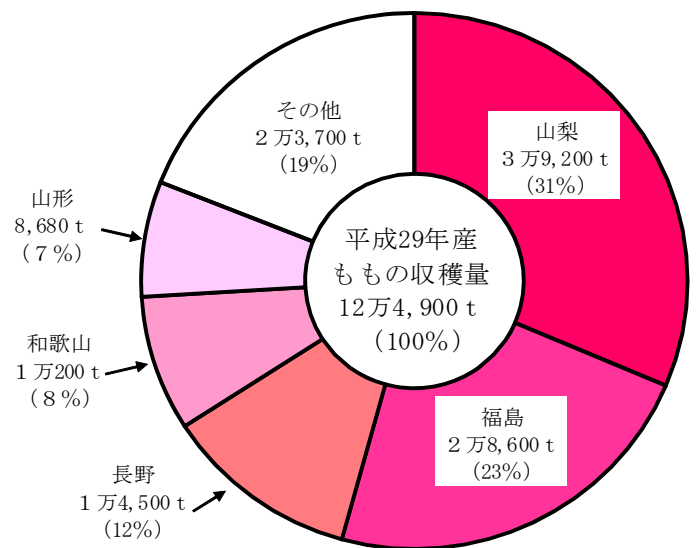


表8 平成29年産ももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
も も	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	9,700	1,290	124,900	115,100	100	98	98	99

(8) すもも

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,810haで、前年産に比べ30ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は698kgで、前年産に比べ112kg（14％）下回った。

これは、開花期の低温による受粉不良の発生で着果数が減少したことに加え、果実肥大期の少雨により肥大が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万9,600t、出荷量は1万7,100tで、前年産に比べそれぞれ3,400t（15％）、3,000t（15％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が34％、長野県が16％、和歌山県が10％となっており、この3県で全国の6割を占めている。

図16 すももの結果樹面積及び収穫量の推移

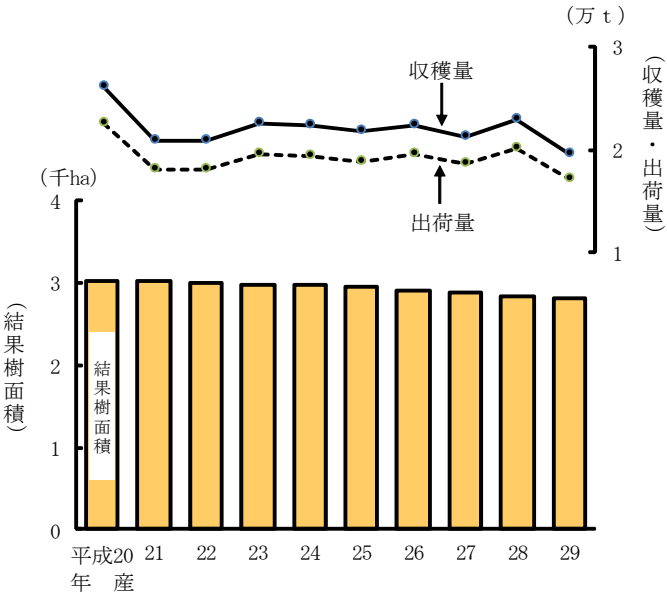


図17 すももの都道府県別収穫量

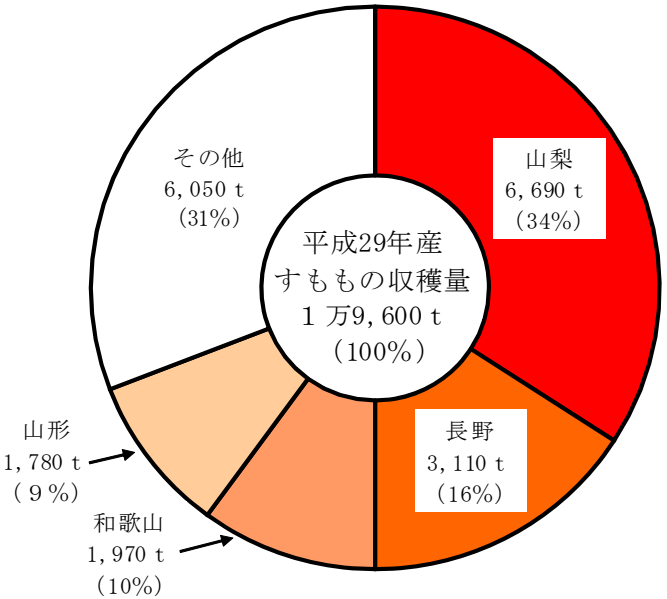


表9 平成29年産すももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
す も も	2,810	698	19,600	17,100	99	86	85	85

(9) おうとう

ア 結果樹面積

結果樹面積は4,360haで、前年産に比べ60ha（1％）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は438kgで、前年産に比べ10kg（2％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万9,100t、出荷量は1万7,200tで、前年産に比べそれぞれ700t（4％）、500t（3％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約8割を占めている。

図18 おうとうの結果樹面積及び収穫量の推移

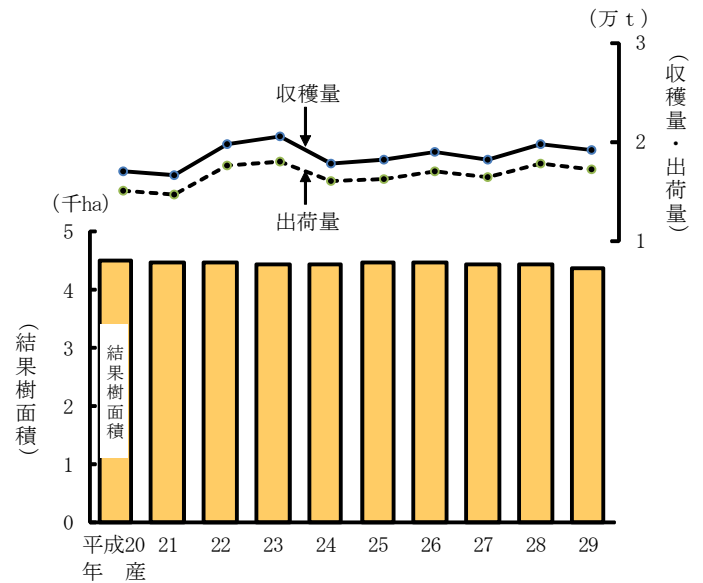


図19 おうとうの都道府県別収穫量

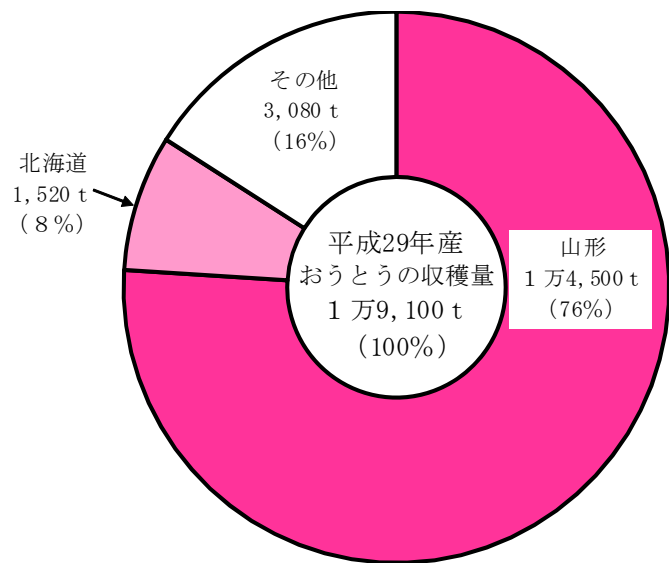


表10 平成29年産おうとうの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
お う と う	4,360	438	19,100	17,200	99	98	96	97

(10) うめ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万5,100haで、前年産に比べ500ha（3％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は575kgで、前年産に比べ19kg（3％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は8万6,800t、出荷量は7万5,600tで、前年産に比べそれぞれ5,900t（6％）、5,200t（6％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約6割を占めている。

図20 うめの結果樹面積及び収穫量の推移

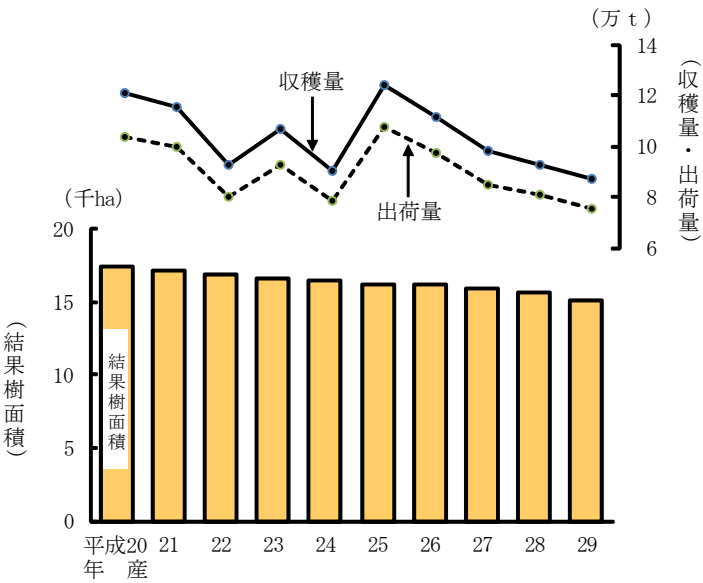


図21 うめの都道府県別収穫量

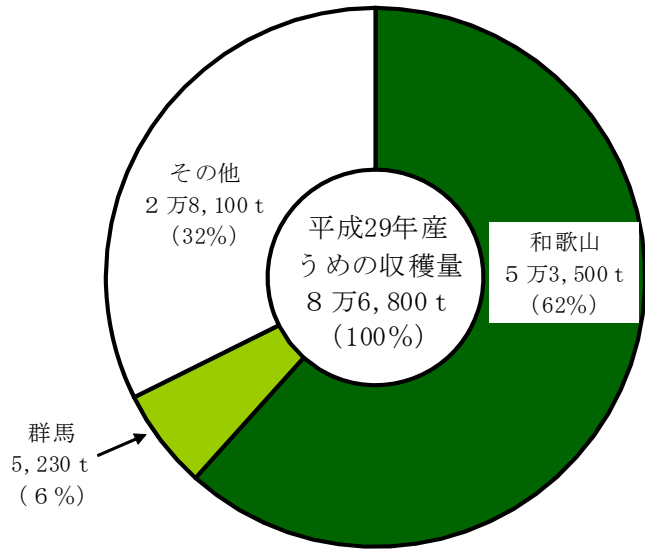


表11 平成29年産うめの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
う め	15,100	575	86,800	75,600	97	97	94	94

(11) ぶどう

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万6,900haで、前年産に比べ100ha（1％）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,040kgで、前年産に比べ10kg（1％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は17万6,100t、出荷量は16万1,900tで、前年産に比べそれぞれ3,100t（2％）、1,900t（1％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が25％、長野県が15％、山形県及び岡山県が9％となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図22 ぶどうの結果樹面積及び収穫量の推移

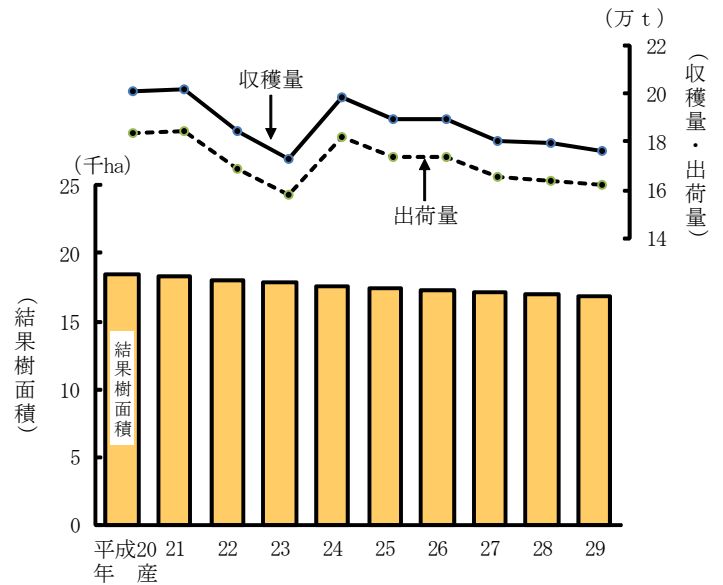


図23 ぶどうの都道府県別収穫量

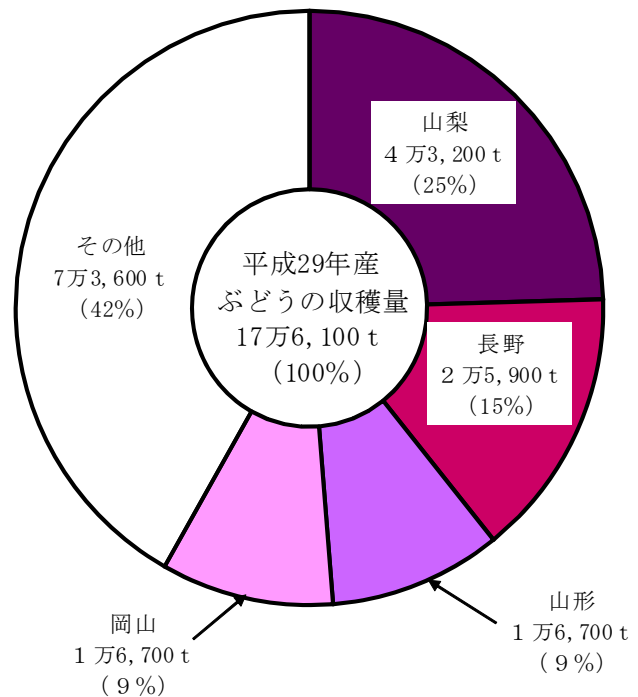


表12 平成29年産ぶどうの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶ ど う	16,900	1,040	176,100	161,900	99	99	98	99

(12) くり

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万8,800haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。
これは、高齢化による労力不足に伴う
廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は99kgで、前年産に比
べ14kg（16%）上回った。
これは、前年産に比べ着果数が多く、
おおむね天候に恵まれ順調に生育したた
めである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万8,700t、出荷量は1万
4,500tで、前年産に比べそれぞれ2,200t
（13%）、2,400t（20%）増加した。
都道府県別の収穫量割合は、茨城県が
22%、熊本県が15%、愛媛県が10%、岐
阜県が4%となっており、この4県で全
国の約5割を占めている。

図24 くりの結果樹面積及び収穫量の推移

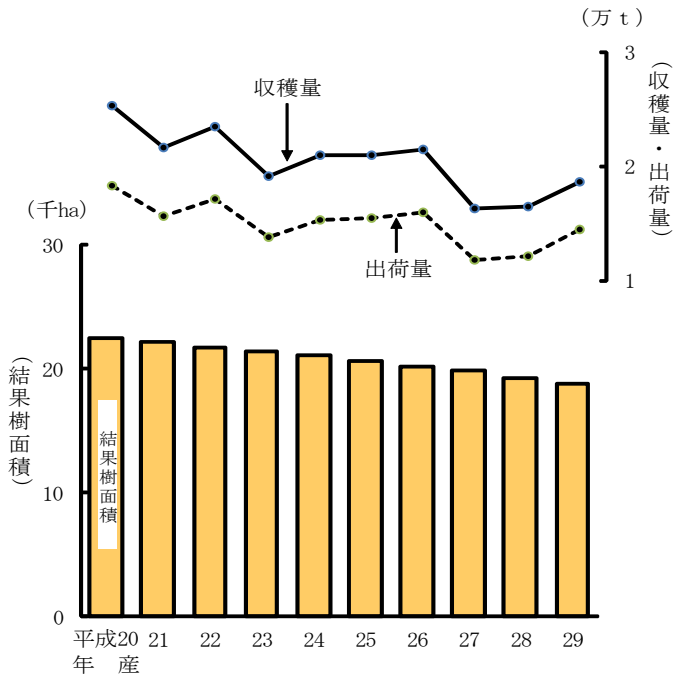


図25 くりの都道府県別収穫量

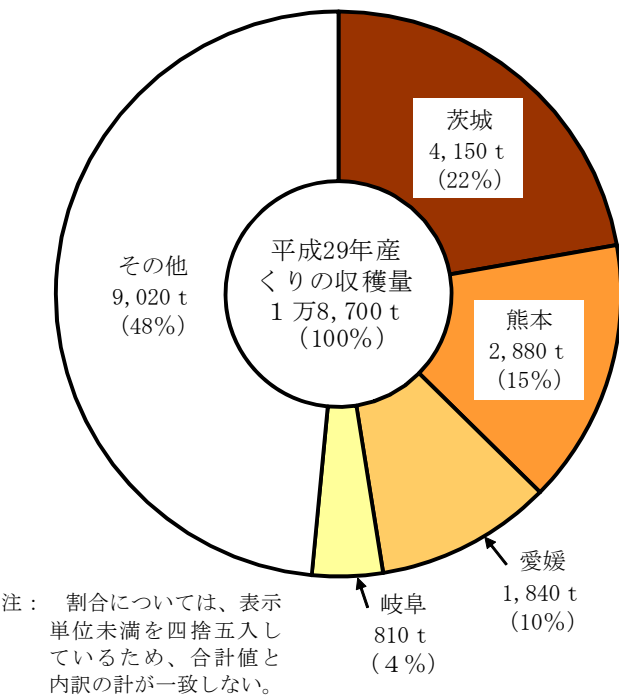


表13 平成29年産くりの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 積 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
く り	18,800	99	18,700	14,500	97	116	113	120

(13) パインアップル（沖縄県）

ア 収穫面積

収穫面積は317haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,680kgで、前年産に比べ220kg（9%）上回った。

これは、生育期及び果実肥大期の天候に恵まれ、おおむね順調に生育したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は8,500 t、出荷量は8,310 t で、前年産に比べそれぞれ730 t（9%）、730 t（10%）増加した。

出荷量を用途別にみると、生食向けは5,520 t（66%）、加工向けは2,790 t（34%）となっている。

図26 パインアップルの収穫面積及び収穫量の推移（沖縄県）

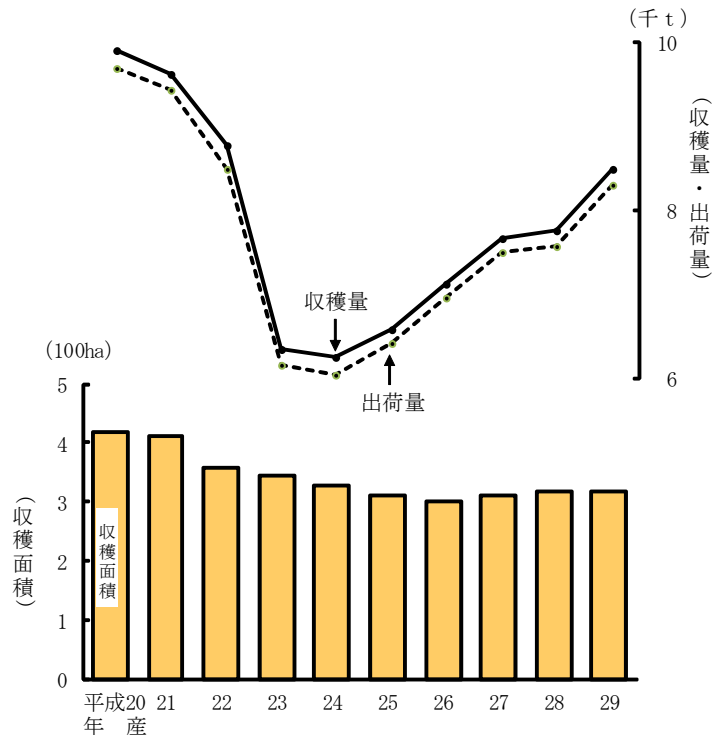


図27 パインアップルの用途別出荷量（沖縄県）

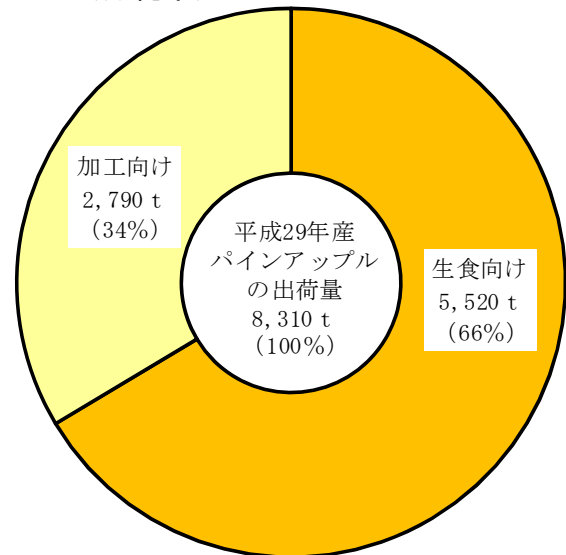


表14 平成29年産パインアップルの収穫面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（沖縄県）

品 目	収穫面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					収穫面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
パインアップル	317	2,680	8,500	8,310	100	109	109	110

(14) キウイフルーツ

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,000haで、前年産に比べ40ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,500kgで、前年産に比べ250kg（20％）上回った。
これは、前年産に比べ着果数が多く、おおむね順調に生育したためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は3万t、出荷量は2万6,200tで、前年産に比べそれぞれ4,400t（17％）、4,400t（20％）増加した。
都道府県別の収穫量割合は、愛媛県が23％、福岡県が18％、和歌山県が14％となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図28 キウイフルーツの結果樹面積及び収穫量の推移

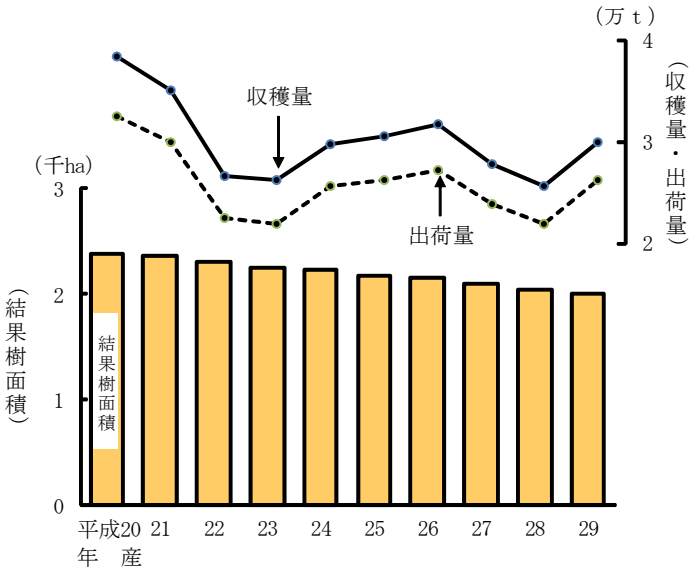


図29 キウイフルーツの都道府県別収穫量

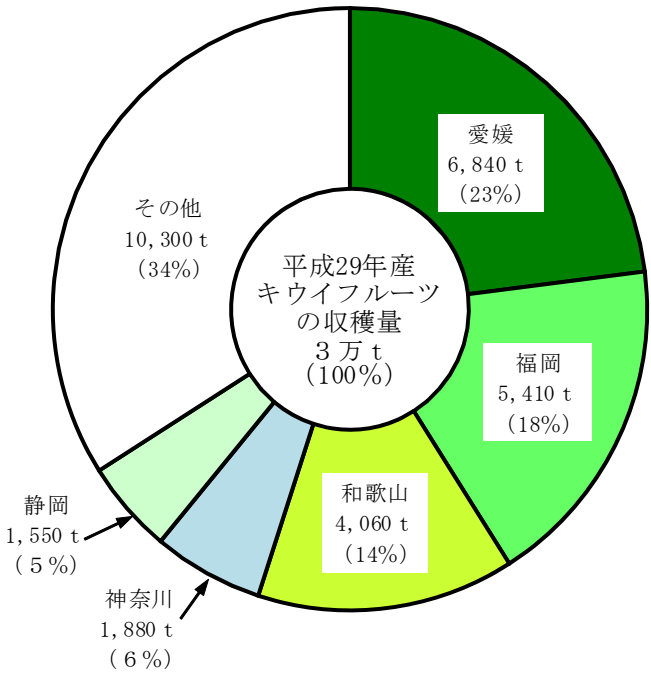


表15 平成29年産キウイフルーツの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
キウイフルーツ	2,000	1,500	30,000	26,200	98	120	117	120